

国際交流イベント「Nationality day」を開催しました NI-Youth が外国籍の子供たちと交流

渡邊 樹 (NI-Youth)

2月2日、NI-YouthはNationality day(ナショナルリティーデー)を開催しました。

国際交流部会との初の合同イベントです。NI-Youthは今春から協会内で国際交流部会の下部組織となります。NI-Youthは、今まで主に習志野市内の留学生を対象としてイベントを開催してきましたが、今回は習志野市内に在住している外国籍の方々、特に子供たちを対象にして「自分の国や他の国の理解を深め、お互いの文化を尊重する」ということを目標にしたイベントを行いました。

初の合同イベントということ、どれほどの参加者があるが予測できなかったこと、私たちNI-Youthがイベントを開催するのが久しぶりであり、運営に手間取ってしまうことなどを考えた結果、イベント参加の声かけをしたのが、協会員の子供たちのみとしました。それでも当初の予定よりもはるかに多くの子供たちが参加してくれました。

私たちは子供たちに楽しんでもらえるように、「世界を知るゲーム」として、アメリカ発祥のクイズゲーム“※Jeopardy!(ジヨパディ)”

と、数字の代わりに国旗を用いた「国旗ビンゴ」を行いました。ゲームは主に国籍ごとに分けたチームで行いました。各チームにはNI-Youthから数人がリーダーとして担当し、それぞれのチームの子供たちを確認すると同時に、説明がわからなかった点などの補助を行いました。

ゲームが始まるまでは仲良くなってもらえるのかが非常に心配でした。言語の壁が立ちはだかったり、お互いに初対面のチームも多かったりしましたが、ゲームが始まるとすぐに皆仲良く参加できたようです。あらためてゲームなどの「遊び」は国境を越えられるものなのだと思います。

今回のようなイベントを継続的に開催していくことで、まずはNI-Youthの知名度を上げ、ひいてはNI-Youthも積極的に関与している姉妹都市交流事業の知名度も上げていきたいです。そのためにも、今後は習志野市に根差した活動で、イベントの対象とする方々の範囲を広げていこうと考えています。

※Jeopardyは、ジャンルごとに問題難易度で分けられているクイズ。難易度が上がるほど正解した際に得られる点数が高くなる。今回は世界の国々の雑学問題。



子供も大人も「ジヨパディ」に盛り上がりました



国ごとのグループで「国旗ビンゴ」